

プロGRESSが、DevSecOps の導入と進展に関する調査結果を発表

プロGRESSの新しい調査によると、回答者の 73% が、DevSecOps の取り組みに改善の余地を認識しており、成功を収めている企業には共通点があることがわかりました。

マサチューセッツ州バーリントン、2022年11月14日 - アプリケーション開発とインフラストラクチャソフトウェアの信頼できるプロバイダーであるプロGRESS (Nasdaq: PRGS) は、本日、「DevSecOps: Simplifying Complexity in a Changing World」(DevSecOps: 変化を続ける世界における複雑さのシンプル化) と題する 2022 年の調査結果を発表しました。プロGRESSの DevSecOps に関する調査には、世界中の 600 人以上の IT、セキュリティ、アプリケーション開発、および DevOps の意思決定者から回答をお寄せいただきました。調査結果のレポート (英語) は、[こちら](#)からアクセスいただけます。

DevOps と DevSecOps の導入状況を明らかにすることを目的としたこの調査は、プロGRESSの後援により、Insight Avenue が実施しました。ビジネスの優先事項、テクノロジーの採用、文化的な整合性と投資、世界の企業に共通する問題点や成功の秘訣など、様々な観点から調査が行われました。

調査結果の重要なポイントは、以下の通りです。

- DevOps と DevSecOps の目標を達成できていない企業が多いことがわかりました。73% が、もっとできることがあると答え、DevSecOps の管理方法について、より戦略的になる必要があると認識している企業は 76% に上りました。また、17% の企業が、自社がまだ探索的で概念実証段階にあると考えていました。
- ほとんどの DevOps および DevSecOps 実装の背後にある最大の要因はセキュリティです。しかし、セキュリティ部門と開発部門との間のコラボレーションのレベルに自信を持っているのはわずか 30% でした。86% が現在のセキュリティへのアプローチに課題があると感じており、51% が DevSecOps の中でセキュリティの位置づけを完全には把握できていないと認めています。
- DevOps と DevSecOps の成功を阻害する最大の要因が文化的な面であることがわかりました。DevSecOps の進展への最大の障壁として文化を挙げた回答者が 71% いましたが、今後 1 年半の間に最適化する領域として文化を優先すると答えたのはわずか 16% でした。

DevOps および DevSecOps ポリシーの実装と実践に成功している組織は、セキュリティトレーニングとスキルアップの重要性を認識しています。セキュリティトレーニングは、セキュリティ部門と開発部門との間の継続的で長期的な高いレベルのコラボレーションの達成に大きく寄与します。組織内での DevSecOps の導入と進展を促進するビジネス要因として、アジリティへの重点、品質/セキュリティ/パフォーマンス問題のビジネスリスク軽減、クラウドへの移行をサポートする DevOps 実装の必要性などが挙げられました。そのほか、調査で明らかになった注目ポイントとして、インフラストラクチャの最新鋭化への取り組み、コードとしてのポリシー、クラウドネイティブの導入、ROI までの時間、投資と教育機会などがあります。

「DevOps にセキュリティを統合することには、リスクの軽減とコストの削減から、より迅速な配信とより効果的なコンプライアンスまで、実に多くのメリットがあります。ですが、それは一朝一夕でできるようなことではありません。」と、プロGRESSの DevOps ゼネラルマネージャー兼上級副社長、Sundar Subramanian は述べています。「日常的に目にしたり、お客様からよくお聞きしたりすることが、今回の調査で改めて確認できました。それぞれにユニークな文化と経緯があり、独自の変曲点や課題があって、DevSecOps の導入には様々な困難が伴います。世界の多くの企業がプロGRESSに着目するのはそのためです。DevSecOps は自動化によって達成できる現実になり得ます。」

ここ数年、ビジネスのあらゆる側面でデジタル化は加速しており、この加速するデジタル化に対応できる企業が生き残り発展していきます。安全なハイブリッドクラウドインフラストラクチャ管理、フルスタックの可観測性、高可用性などを含め、設計から開発、運用保証まで、DevSecOps のライフサイクル全体に渡って、サービスを提供できるプログレスに、多くの企業が信頼を寄せています。プログレスは DevOps と DevSecOps のリーダーであり、マルチクラウド、ハイブリッドクラウド、およびオンプレミス環境での自動化と安全な展開のために不可欠な製品を提供しています。

この調査、「DevSecOps: Simplifying Complexity in a Changing World」(DevSecOps: 変化を続ける世界における複雑さのシンプル化)、は、B2B テクノロジーの研究を専門とする英国の調査会社 Insight Avenue によって実施されました。ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカ、米国、合わせて 11 か国の、従業員数 100 人以上の組織の IT/セキュリティ/アプリ開発および DevOps の意思決定者に対して、606 回のインタビューを行い、調査結果をまとめました。

プログレスについて

プログレス (Nasdaq : PRGS) は、テクノロジーが牽引する世界において専心的にビジネスを推進し、多くの企業がイノベーションのサイクルを加速し、躍進して業績を向上させていくプロセスを支援します。プログレスは信頼できるプロバイダーとして、インパクトが大きいアプリケーションを開発、展開、管理するための最高の製品を提供し、お客様は必要なアプリケーションとエクスペリエンスを開発し、適切な手法で展開し、すべてを安全かつ確実に管理することが可能になります。1,700 のソフトウェア会社と 350 万の開発者を含め何十万もの企業が目標達成のために確信を持ってプログレス製品を利用しています。詳細については www.progress.com をご覧ください。

Progress、WhatsUp、Kemp、LoadMaster、および Flowmon は、Progress Software Corporation そして/または 米国内もしくはその他の国の子会社あるいは関連会社の商標または登録商標です。ここに含まれるその他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

お問い合わせ先：

プログレス・ソフトウェア・ジャパン株式会社

高田美奈 (たかたみな)

sales_japan@progress.com